

Market Report

2024年10月号



インドネシアのパーム油生産量及び価格見通し

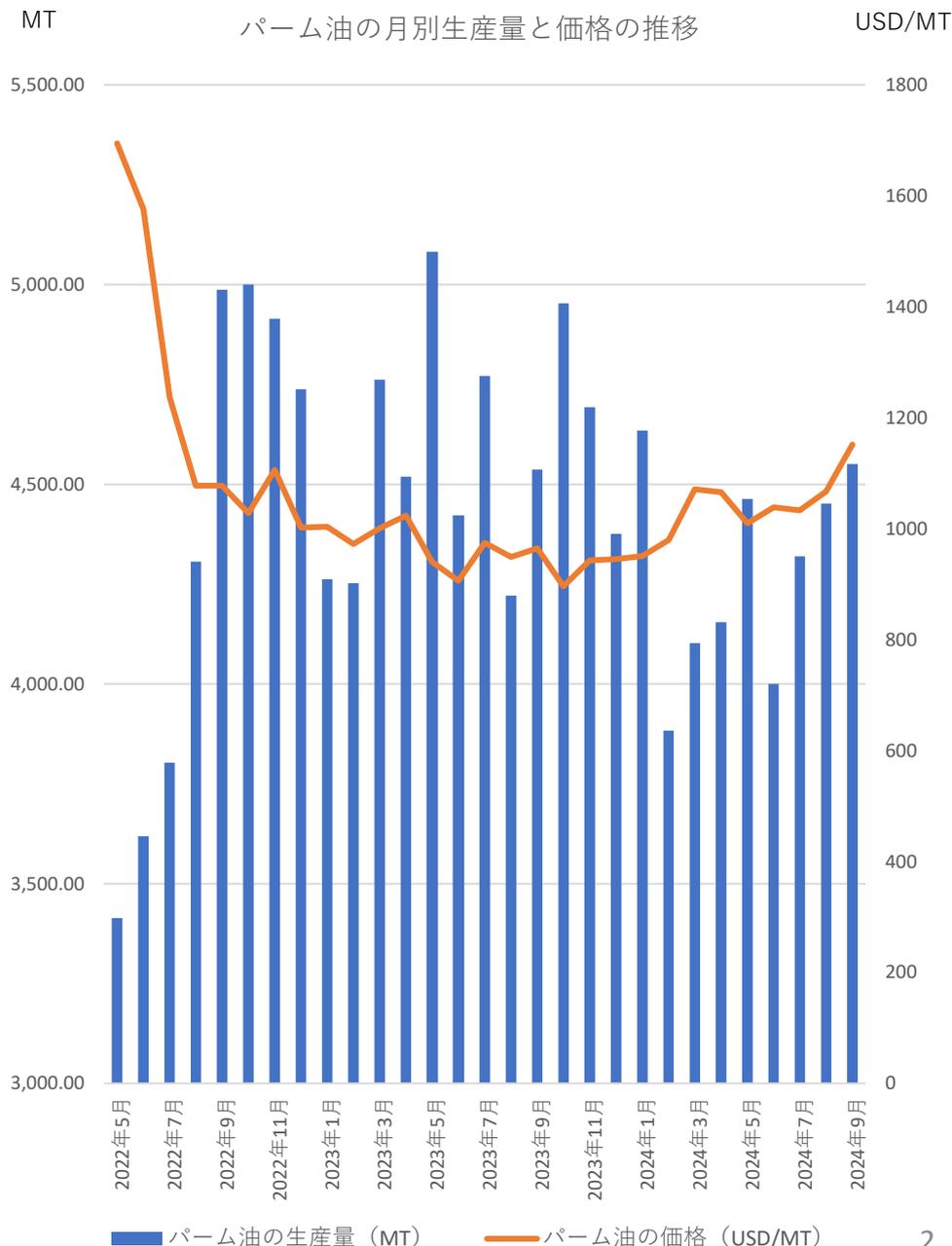
1. 実績

2024年9月のインドネシア国内のFFBの最高価格は、北スマトラ州で3,218Rp/kg、最低価格は、西パプア州で、2,223Rp/kgであった。

CPOの平均価格は2024年9月の13,353 Rp/kgと比較して2024年8月は12,958Rp/kgとなり、396 Rp/kg（前月比で約3%）上昇した。また、2023年9月のCPO平均価格10,863 Rp/kgと比較すると、2,491 Rp/kg（前年比で約23%）上昇した。

2. 見通し

パーム生産国であるインドネシアがB40のバイオディーゼル(CPO:40%、軽油60%の混合燃料)の販売計画に伴い、国内CPOの需要が高まり、FFB、CPOの価格は引き続き、上昇の傾向が続くと見込まれる。



インドネシアからのPKSの輸出量及び輸出額見通し

1. 実績

2024年8月のインドネシアのPKS輸出量は、506,623トンとなり、7月の輸出量350,062トンと比較すると156,567トン（前月比で約45%）の増加となった。

前年2023年8月のPKS輸出量428,720トンと比較すると、2024年8月の輸出量は77,903トン（前年比で約18%）増加した。2024年8月のPKS輸出額はUSD51,915,506を記録した。

2024年8月最大の輸出先は日本であり、輸出量は479,630トン、外貨換算額は51,972,850 USDを記録した。（日本へのPKS輸出量は、インドネシア全体の輸出量の約94%を占める）日本への輸出量が7月の輸出量318,373トンと比較すると161,257トン（前月比で約50%）の増加となった。

2. 見通し

雨期に本格的に入るため予想されるため、10月のFFBとCPOの生産量が減少すると推定される。その結果、引き続きPKSの供給量が少ない状態が続き、価格が上昇する可能性がある。

